

平成 25 年 7 月 3 日

セメント・コンクリート研究会会員各位

第 40 回セメント・コンクリート研究討論会（熊本）のご案内

第 40 回セメント・コンクリート研究討論会を下記の要領で開催いたします。奮って、ご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

1. 研究討論会・特別講演・総会

日時：平成 25 年 11 月 15 日（金）9:00～18:00

場所：熊本大学・黒髪北キャンパス **くすの木会館**

（〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1）

会場：県道 337 号線北側の黒髪北キャンパスの図中の⑧の建物です。

因みに「熊本大学前」バス停は、②の正門（赤門）の傍です（以下の交通案内を参照ください）。赤門を入られてサインカーブと呼ばれる道路を北上し、五高記念館⑬（現在、博物館として一般に開放されています）の横を通り抜け東に進んだ所にあります。

昼食は、会場にて希望者に弁当を用意いたします。

昼食代 1,000 円

スケジュール（予定）：

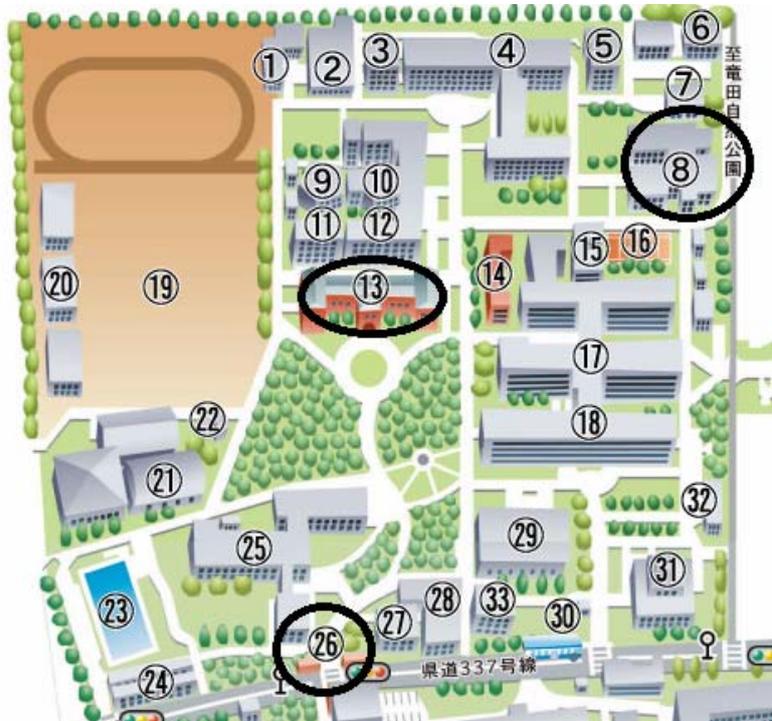
午前：○総会

（研究討論会開始前）

○研究討論会

午後：○研究討論会

○特別講演



特別講演

講演者：伊東龍一教授（熊本大学工学部建築学科）

演題：「熊本城本丸御殿の再現」

参加費：無料

2. 懇親会

日時：平成 25 年 11 月 15 日（金）18:30～21:00

場所：ホテル日航熊本

<http://www.nikko-kumamoto.co.jp/>

参加費：6,000 円

3. 見学会

日時：平成25年11月16日（土）8:30～17:40

コース(予定)：アークホテル熊本発→ホテル日航熊本経由→熊本大学地域共同ラボトリーにてパルスパワー再生骨材施設を見学後→天草へ移動し昼食会→天草五橋見学→熊本市内へ（希望により、JR熊本駅及び熊本空港へ）

参加費：3,000円（昼食代込み）

4. 宿泊

（栲山一観光へ直接に申し込みください。（ホテルパック有り）

Tel. 096-340-1111, Fax. 096-340-1256, e-mail: jono@yamaichi-kanko.co.jp

山一観光ホームページ <http://www.yamaichi-kanko.co.jp/>より申込用紙は手配ください。

ホテル名	シングル	ツイン	懇親会場までの所要時間
①ホテル日航熊本	14,175円	26,250円	当館
②アークホテル熊本	8,925円	15,750円	徒歩7分
③「東横イン」熊本城通町筋	5,980円	—	徒歩3分

5. 参加申込み

参加申込期限：10月11日（金）

研究討論会、懇親会、見学会への参加は、添付の「申込用紙」により、下記申込先にE-mailまたはFaxにてお申込み下さい。

《話題提供・研究発表の募集》

第40回研究討論会（熊本市）の話題提供・研究発表を募集いたします。奮ってご応募下さい。連名者は非会員でも可ですが、講演は会員に限ります。

論文審査を希望しない場合は、学会等の論文集などに既発表の内容でも結構です。研究討論会を有意義な情報交換の場としてご利用下さい。講演をご希望の方は、別添の「講演申込書」にご記入の上、下記申込先にE-mailまたはFaxにてお申込み下さい。

原稿は、別添の「原稿執筆要領」にしたがって作成して下さい。

○講演希望者

講演申込期限：9月13日（金）

原稿提出期限：

1. 論文査読を希望するもの 9月27日（金）
2. 論文査読を希望しないもの 10月11日（金）

参加・講演申込および原稿提出先・問合せ先：

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学工学部社会環境工学科

重石 光弘

Tel.: 096-342-3534 / Fax: 096-342-3507

E-mail: shigeishi@civil.kumamoto-u.ac.jp

[第40回セメント・コンクリート研究討論会（熊本市）実行委員会構成]

(1) 実行委員会

委員長：大津政康（土木）、副委員長：村上 聖（建築）

幹事長：重石光弘（土木）、幹事：武田浩二（建築）、山口 信（建築）、佐藤あゆみ（建築）

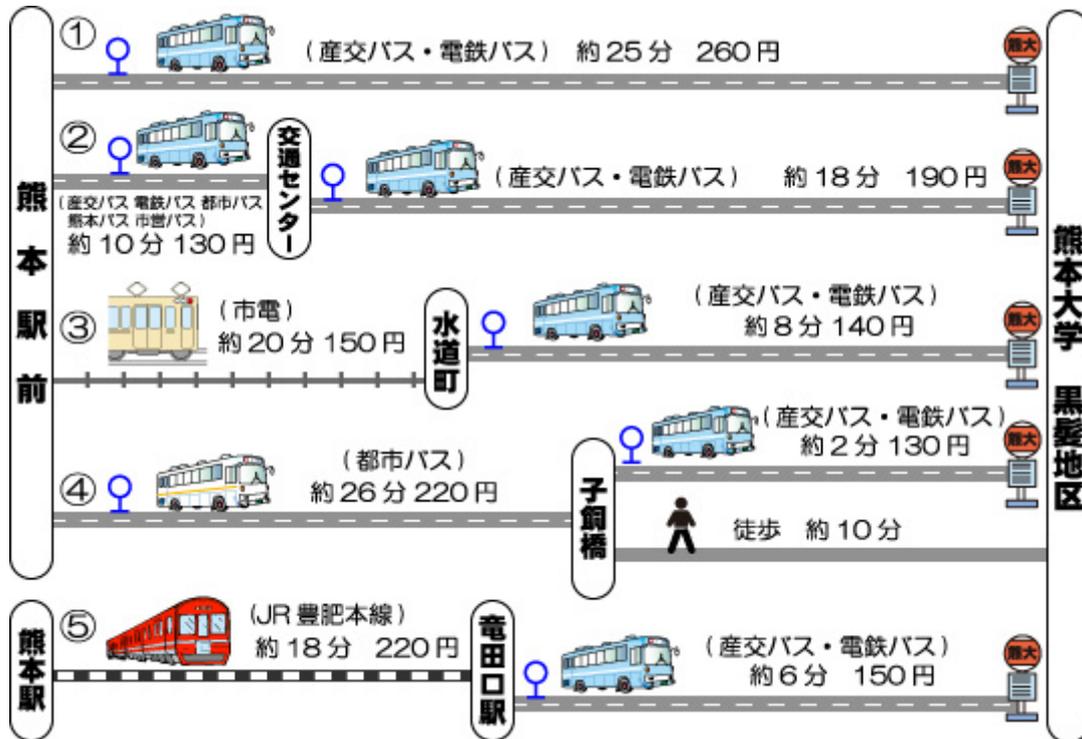
(2) 論文査読委員会

幹事長：村上聖（建築）、委員：重石光弘（土木）

[賛助団体]

セメント協会、全国生コンクリート工組連合会、日本鋳業協会、鉄鋼スラグ協会
化学混和剤協会、膨張材協会、日本フライアッシュ協会

○交通案内



○ホテル地図 (熊本市街中心部・通町界限)



熊本大学付近の散策案内

1. 熊本大学五高記念館（北キャンパスマップ⑬）

旧制第五高等学校の赤煉瓦の本館は明治 22 年に完成し、以来 100 年以上の風雪に耐えながら、今なお優美な姿をとどめています。本館は、かつては五高の、昭和 24 年以降は熊本大学の象徴として、今日も人々に親しまれており、平成 5 年より「熊本大学 五高記念館」として一般公開されています。この校舎では、小泉八雲や夏目漱石をはじめとする多くの優れた個性あふれる教師が教鞭をとりました。



2. 夏目漱石銅像（北キャンパスマップ⑰と⑱の間に位置します。）

銅像の脇にある碑には、1897(明治 30)年 10 月 10 日第 10 回開校記念日に教員総代として読んだ祝辞の一節「夫レ教育ハ建国ノ基礎ニシテ、師弟ノ和熟ハ育英ノ大本タリ」が刻まれている。1962(昭和 37)年、五高開校 75 周年を記念して五高同窓会によって建立。熊本の「都市伝説」では、この左手に頭をなでてもらうと頭がよくなると言い伝えられ、週末には子供連れがよく見かけられる。



3. 工学部資料館（南キャンパス）

1908 (明治 41) 年に旧熊本高等工業学校の機械実験工場として建てられた建物です。ここでは教官や技官により機械に関する種々の実験を通し技術開発に関する研究がなされ、学内や学外で使用される工作機械や実験装置の製作も行われていました。1977 (昭和 52) 年以降は研究資料館として使用されており、高等工業学校時代からの工作機械や歴史資料を展示しています。展示物は各種旋盤、平削盤、立削盤などの工作機械を中心に、各種測量機、教科書類、古写真アルバム、明治から続く高等教育機関で、当初の建物とともに、機械が動く状態で保存（動態保存）されている機械工場は全国にも例がなく、煉瓦造の建物と 11 台の古い貴重な工作機械は、平成 6 年に国の重要文化財に指定され、また平成 19 年には機械学会から機械遺産に認定されました。当日は、昼休みのみ開場いたします。



この他に「くすの木会館」横の東門を出て北上しますと、以下のような名跡があります。

【武蔵の引導石】

寛永 17 年 (1640 年)、57 歳の時に細川忠利公より客分として熊本に招かれた宮本武蔵は正保 2 年 (1645 年) に 62 歳で生涯を閉じるまでの 5 年間に熊本で過ごしました。細川公に与えられた千葉城跡の屋敷で息を引き取った武蔵の葬儀は、熊本藩により盛大にとり行われたといわれています。旧国道 57 号から弓削に向かう葬儀の途中、禅の道を通じて武蔵と親交の深かった細川家の菩提寺、泰勝寺の二代目和尚・春山和尚が待っていました。そのとき、棺はいったん参道の石の上に置かれ、和尚が成仏するよう引導を渡すと、にわかには雷鳴が鳴り渡ったと伝えられています。以来、この石は引導石と呼ばれるようになりました。大人 3 人が両手をまわしたほどの大きな石は、今も国道沿いにひっそりと佇んでいます。

【立田自然公園・泰勝寺】

立田山麓にある、肥後藩主・細川家の菩提寺泰勝寺跡です。細川家初代藤孝夫妻と二代目忠興とガラシャ夫人の墓「四つ御廟」や、武人でありながら茶道にかけては国内随一といわれた細川忠興の原図に基づいて復元された茶室「仰松軒」などがあります。茶室「仰松軒」にある手水鉢は、京都で細川忠興が愛用したもので、豊臣秀吉や茶の師・千利休も使用したと伝えられます。

因みに隣接する建物は、現在も細川家の本宅であり、「佐川急便事件」で自宅の塀を修理したと問題になった家がここです。

第40回セメント・コンクリート研究討論会次第（プログラム）

平成25年11月15日金曜日
国立大学法人熊本大学 くすの木会館 レセプションルーム

8:40 ～ 9:00 開会 — 平成25年度総会

9:00 ～ 10:25 講演セッション1 司会 武田 浩二（熊本大学）

1. 低水粉体比セメントペーストの流動性と高分子系分散剤の作用機構
新 大軌（東京工業大学）
宇城 将貴（電気化学工業）
川上 宏克（日本触媒）
宮内 雅浩（東京工業大学）
坂井 悦郎（東京工業大学）
2. 水酸化カルシウムペーストおよび各種混合材を添加したセメントペースト硬化体の炭酸化による生成相と形態の変化
浅賀 喜与志（帝京科学大学）
3. カルシウムアルミネート水和物によるクロム酸イオンの固定に及ぼす炭酸カルシウムの影響
大宅 淳一（日本大学）
三五 弘之（日本大学）
新 大軌（東京工業大学）
坂井 悦郎（東京工業大学）
4. 【論文】フライアッシュモルタルの早期強度発現に影響を及ぼす再生細骨材に関する実験的検討
橋本 親典（徳島大学）
青井 洋視（徳島大学）
渡辺 健（徳島大学）
石丸 啓輔（徳島大学）
5. 高温環境下におけるペースト流動特性の経過時間変化
山田 義智（琉球大学）
赤嶺 糸織（琉球大学）
崎原 康平（琉球大学）
6. 振動加速度計を用いたコンクリートの圧送性評価
橋本 紳一郎（福岡大学）
添田 政司（福岡大学）
樋原 弘貴（福岡大学）
江本 幸雄（福岡大学）
渡辺 健（徳島大学）
橋本 親典（徳島大学）

休憩（15分程度）

10:40 ～ 12:05 講演セッション2 司会 橋本 紳一郎（福岡大学）

7. 初期高温履歴を与えたコンクリートの諸特性
佐々木 謙二（長崎大学）
原田 哲夫（長崎大学）
片山 強（ヤマウ）
8. コンクリートの圧縮強度および圧力分布に及ぼす端面摩擦の影響
黒井 登起雄（足利工業大学）
9. コンクリート中での鋼材腐食に関わる塩化物イオンの影響に関する一考察
大即 信明（東京工業大学）
西田 孝弘（東京工業大学）

10. ALCにおける凍結融解に伴う熱水分移動に関する研究
岸本 嘉彦 (室蘭工業大学)
濱 幸雄 (室蘭工業大学)
11. 高炉スラグを用いたコンクリートの凍結融解抵抗性に関する研究
綾野 克紀 (岡山大学)
藤井 隆史 (岡山大学)
12. Ca-Mg-Si 系材料を混和し、オートクレーブ養生および水中養生したセメント系材料の硫酸塩抵抗性に関する基礎的研究
斎藤 豪 (新潟大学)
佐伯 竜彦 (新潟大学)
高橋 一誠 (新潟大学)
菊地 道生 (新潟大学)

昼食 (75 分程度)

13:20 ~ 14:45	講演セッション3	司会 小山 智幸 (九州大学)
---------------	-----------------	-----------------

13. アルカリ骨材反応に対する各種塗布剤の抑制効果に関する研究
呉 承寧 (愛知工業大学)
郭 度連 (太平洋マテリアル)
俵 道和 (オリエンタル白石)
浜中昭徳 (太平洋マテリアル)
14. 塩化物イオン量の測定を目的としたコンクリート試料採取方法の検討 - コア径及びドリル削孔径の影響 -
湯浅 昇 (日本大学)
15. コンクリートの耐久性評価における小片試験方法の有効性
羽原俊祐 (岩手大学)
小山田 哲也 (岩手大学)
中村大樹 (岩手大学)
16. 硬化コンクリート中の鋼材腐食発生条件測定方法としての硝酸銀溶液噴霧法および鉄粉散布法の可能性
青木 優介 (八戸高専)
菅原 隆 (八戸高専)
西村 良雄 (八戸高専)
17. 廃瓦粗骨材を混入したフライアッシュコンクリートの圧縮強度および中性化深さに対する養生条件の影響
小川 由布子 (広島大学)
河合 研至 (広島大学)
佐藤 良一 (広島大学)
石森 慎一郎 (中国電力)
18. 震災コンクリートがらを用いたPCa コンクリート製品の試作
北辻 政文 (宮城大学)
開米 浩久 (宮城大学)
澤田 達也 (JR 東日本)

休憩 (15 分程度)

15:00 ~ 16:25	講演セッション4	司会 佐々木 謙二 (長崎大学)
---------------	-----------------	------------------

19. 高耐久コンクリート製品の開発に関する基礎的研究
菅原 隆 (八戸高専)
青木 優介 (八戸高専)
西村 良雄 (八戸高専)
権代 由範 (仙台高専)

20. 都市型水害の減災に資する地盤内の水流制御技術の開発研究
 畑中 重光 (三重大学)
 中川 武志 (川島工業)
 三島 直生 (三重大学)
 酒井 俊典 (三重大学)
21. 二次元メゾモデルを用いたコンクリート打継ぎ界面の力学特性値に関する考察
 佐藤 あゆみ (熊本大学)
 山田 寛次 (秋田県立大学)
 石山 智 (秋田県立大学)
22. 解析を援用した弾性波法によるアンカーボルト固着部の健全度評価手法に関する基礎研究
 内田 慎哉 (立命館大学)
 鎌田 敏郎 (大阪大学)
 宮田 弘和 (西日本高速道路)
 岡本 享久 (立命館大学)
23. 超高強度繊維補強コンクリート製楽器の製作と楽音性能に関する研究
 岡本 享久 (立命館大学)
 平尾 一樹 (日本コンクリート工業)
 明石 知樹 (立命館大学)
 中川 隆一 (立命館大学)
 内田 慎哉 (立命館大学)
 川崎 佑磨 (立命館大学)
24. 連続繊維シート補強 RC 版の耐爆性能に及ぼす補強量の影響
 山口 信 (熊本大学)
 村上 聖 (熊本大学)
 武田 浩二 (熊本大学)

休憩 (15 分程度)

16:40	～	17:50	特別講演	司会 村上 聖 (熊本大学)
-------	---	-------	-------------	----------------

熊本城本丸御殿の再現

伊東 龍一 (熊本大学)

17:50 ～ 18:00 連絡事項伝達 — 閉会

19:00 ～ 懇親会 会場 ホテル日航熊本